



## 受験者の皆様へ

このたびは国立天文台の事務職員採用試験 HP をご覧いただきありがとうございます。過去の採用説明会等で受験者の皆様からいただいた質問とその回答をまとめました。受験の参考にしていただければ幸いです。

また、この他に聞いてみたいことがありましたら、お気軽に質問をお寄せください。「こんなこと聞いて大丈夫かなあ」というような質問にも可能な限りお答えします！

質問受付アドレス：job07-naoj-jimu\_AT\_nao.ac.jp

（上記メールアドレスの”\_AT\_”を@に置き換えて送信してください。）

## 目次

【海外赴任について】 .....	1
【採用者に求められるスキル】 .....	3
【採用後の業務・研修・勤務など】 .....	4
【異動・人事交流について】 .....	6
【職員交流】 .....	6
【福利厚生・休暇など】 .....	7
【天文台職員に聞きたいこと（最近採用された職員に答えてもらいました!）】 .....	7

### 【海外赴任について】

・希望すれば海外赴任できるのでしょうか。

→海外にある勤務先のうちハワイとチリにあるオフィスでは事務職員が配属されており、海外赴任の可能性があります。海外赴任はあらかじめ本人の希望を確認し、適性等を鑑みて決定されます。海外勤務を希望している全ての事務職員が海外赴任できるとは限りません。



・希望をしていなくても海外転勤を命じられることはありますか。

→海外にある勤務先のうちハワイとチリにあるオフィスでは事務職員が配属されており、海外赴任の可能性があります。海外赴任はあらかじめ本人の希望を確認し、適性等を鑑みて決定されます。

・海外赴任を希望していますが有利になる資格や能力はありますか。

→有利になる資格はありません。海外オフィスは事務職員の人数が少ないため、幅広い業務遂行能力が求められます。これらの能力は、国立天文台に採用された後、三鷹本部での業務を通じて身につけていただきます。

また、海外で生活するため、ハワイであれば英語、チリであれば業務の際には英語、日常的にはスペイン語の語学力が必要です。英語は事務職員向けに英会話研修を実施しています。スペイン語は赴任前や赴任後に研修制度が利用できる場合があります。

・フォークリフトの経験がありますが、海外赴任に有利になりますか？

→ハワイに赴任する際にフォークリフトの免許は必要となりますが、赴任前の経験等が有利不利になることはありません。免許をお持ちでない場合は、赴任前に講習受講の上で免許を取得いただきます。

・海外勤務を希望する場合はどの程度の語学力が必要ですか。

→ハワイは、日本人と外国人スタッフは半々くらいですが、業務（会議、メール、電話）は英語で行われます。

チリは、業務は英語と日本語半々ほどで行われることがほとんどですが、現地の公用語はスペイン語のため、日常生活のためにスペイン語の語学力も必要です。

・どのくらいの割合の人が海外へ派遣されるのでしょうか。

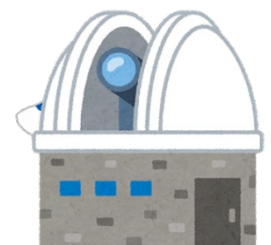
→海外で働いている事務職員は現在 6 名です。海外勤務を希望している方全員が海外赴任できるとは限りません。

・どのくらいの期間海外で勤務するのでしょうか。

→本人の適性や状況等にもよりますが、概ね 2～3 年が多いです。

・何年目から海外赴任できますか。

→何年目からという決まりはありませんが、三鷹本部で採用され、業務経験を積んでから赴任していただきます。



・海外勤務は皆さん経験されるのでしょうか。

→全ての事務職員が海外勤務を経験するとは限りません。

**【採用者に求められるスキル】**

・採用されるにはどのようなスキルが必要ですか。

→採用時に必須となる特別なスキルはありません。業務を通じて必要な知識やスキルを身につけていただきます。また、採用後に業務の必要性に応じて研修を受講していただく場合があります。

・国内勤務でも英語力は必要ですか。

→国立天文台では外国人職員への配慮などからスタッフ向け全体メールや通知文などは日本語と英語を併記することとなっているため、日常的に英語を利用します。英語での文章作成などは担当部門のチェックを利用することもあります。

配属部署にもよりますが、海外の機関や外国人職員と直接やり取りする機会もあります。窓口対応をすることもありますが、メールでの対応が多い印象です。

事務職員向けの英語研修を実施しておりますので、採用後に受講いただき、英語力を身につけていただくこともできます。

・運転免許は必要ですか。

→事務職員の業務に必須ではありません。

→ハワイ勤務の場合はフォークリフト免許が必要となるため、赴任前に教習所に通っていただき、免許を取得していただきます。

・パソコンのスキルは必要ですか。

→日常業務は、基本的にパソコンを用いて行われます。メールやワード、エクセルの基本的な操作ができることが望ましいです。

・理系の知識や工学的知識は必須でしょうか。

→理系の知識や工学的知識が業務で役立つ場面もあるかもしれませんが、必須ではありません。むしろ、違った分野を専攻していた人の方が多い印象です。

・事務職員でも天文学の知識は必要ですか。

→天文学の知識が業務で役立つ場面もあるかもしれませんが、必須ではありません。むしろ、天文学の知識はなく働き始めた人の方が多いかもしれません。

・文系理系は理系の方が多いのでしょうか。

→事務職員は文系理系問わず在職しています。分野にとらわれず、柔軟な発想と広い視野で業務に取り組める方のご応募をお待ちしております。

・大学の専攻は文系ですが不利ですか。

→大学の専攻で採用に有利不利となることはありません。事務職員は文系理系問わず在職しています。分野にとらわれず、柔軟な発想と広い視野で業務に取り組める方のご応募をお待ちしております。

・天文部や天文サークル出身の方が多いのでしょうか。

→天文関係の活動経験を問わず様々な事務職員が在職しています。



・新卒と転職者と採用数はどちらが多いのでしょうか。

→採用年度によって割合は変化します。どちらかが不利になることはありません。

・留学経験がある人が多いのでしょうか。

→留学の経験にかかわらず様々な事務職員が在職しています。留学経験の有無で採用に有利不利となることはありません。

・大学院卒業者の採用実績はありますか。

→採用実績はありますが、大学院卒業が採用に有利になるということはありません。

・県外出身者は多くないのでしょうか。

→事務職員の出身地域は様々です。地域を問わず国立天文台を支えていただける方のご応募をお待ちしております。

・どのような人物を求めますか。

→広い視野で柔軟な発想を持ち、積極的に行動できる方

#### 【採用後の業務・研修・勤務など】

・研修期間はどのくらいですか。

→採用直後から部署に配属となり、実際の仕事を通じて業務を学んでいただきます。

採用後 1 年の間に自然科学研究機構の初任者研修や西東京地区の国立大学法人と合同で開催される初任職員研修に参加していただく予定です。

・1年目ではどのような業務を担当するのでしょうか。

→配属部署にもよりますが、1年目から通常の事務職員が行う業務を任されることがあり、先輩職員等と相談しながら業務を行っていただきます。

・普段の業務ではチームや課などあると思いますが、どのくらいの人数で仕事していますか。

→配属部署によって人数などは異なります。課の中に複数の係があるので、係単位で業務を行ったり、それぞれの担当者ごとに業務を行ったりすることが多い印象です。

大学と比較して規模が小さいため、課を超えて一緒に業務を行う機会もあります。

(総務課：約30名、研究推進課：約15名、財務課：約15名、経理課：約10名、施設課：約10名、各課建物が隣接していて職員同士のコミュニケーションは比較的とりやすい環境です。)

・仕事の内容は研究所のサポートという仕事がメインになるのでしょうか。

→先生方が素晴らしい研究成果を出せるようにサポートするのが事務職員の仕事です。

・勤務時間の段階設定などはありますか。

→段階設定はありません。基本は定められた時間で勤務していただきます。

・一般の方が来訪されるイベントなどは事務職員が企画運営を行うのでしょうか。

→一般の方が来訪されるイベントなどは広報部門のプロジェクトが中心となり企画運営が行われます。事務職員も企画運営に携わる場合もあります。

・仕事はボトムアップとトップダウン、どちらの傾向が強いですか。

→コンパクトな職場のため、ボトムアップとトップダウンどちらもあります。

・残業はありますか？

→配属部署や時期にもよりますが残業はあります。

・休日出勤はありますか？

→休日出勤は原則ありません。

ただし、繁忙時期やイベント対応などによって出勤が必要なこともあります。その場合は原則として別の日に振替休日を取得いただきます。

・海外や国内施設への出張はありますか。

→業務の必要に応じて出張の機会があります。イベントの手伝いや内部監査のために国立天文台の各施設に出張したり、近隣の国立大学法人や自然科学研究機構の研究所に出張したりすることがあります。

・在宅勤務制度はありますか。

→条件を満たす場合は制度の利用が可能です。



### 【異動・人事交流について】

・異動のスペンはどのくらいですか。

→人や部署により幅がありますが、概ね2～3年ごとに異動となります。

・国立天文台は自然科学研究機構の傘下の研究所という立ち位置のようですが、異動は基本的に国立天文台内となるのでしょうか。

→国立天文台内の異動のみならず、自然科学研究機構内の他の研究所や本部である事務局への異動となる場合もあります。

・他の機関に異動することはあるのでしょうか。

→本人の希望や適性等により、人事交流として国立大学法人や自然科学研究機構事務局などに異動となることがあります。

・文部科学省への出向はありますか。

→本人の希望や適性等により研修生として文部科学省で勤務いただく場合があります。

### 【職員交流】

・研究者との交流はあるのでしょうか。

→大学よりも規模が小さいので、研究者と事務職員との距離は近い印象です。業務の打ち合わせを研究者と直接行うこともありますし、直接窓口に行きしゃることもあります。業務外ですが研究者とサークル活動で一緒にすることもあります。

・サークル活動など仕事以外で職員同士の関わりはありますか。

→昼休みや勤務時間終了後に活動しているサークルなどがあります。事務職員以外にも先生や大学院生・パート職員など一緒になって活動していることが多いです。

(テニス、野球、卓球、バトミントン、折り紙、合唱など)



【福利厚生・休暇など】

・食堂はありますか？

→三鷹本部には敷地内に東京大学の生協があり、昼食をとることができます。

・運動するところがありますか？

→三鷹本部には野球グラウンドやテニスコートがあり、休憩時間に利用する職員がいます。  
自然豊かな敷地内を散策する職員やジョギングする職員がいます。

・職員宿舎はありますか？

→三鷹本部には国立天文台が所有する宿舎はありません。空き状況等にもよりますが、近隣の国立大学法人などが所有する宿舎を利用できる場合があります。

・子育てしながら働けますか？

→特別休暇や育児休業などの制度が整備されており、現在では女性職員のみならず男性職員も積極的に制度を活用しながら働いています。

また、三鷹本部には敷地内に職員が利用できる事業所内保育所があります。

・休みは取りやすいですか？

→採用時から年次有給休暇が付与されます（付与日数は採用タイミングにより月割り）。  
業務の繁忙時期などにもよりますが、業務を調整して年次有給休暇を取得する方が多い印象です。

【天文台職員に聞きたいこと（最近採用された職員に答えてもらいました!）】

・皆様が国立天文台を志望した理由をお知らせください。

→小学生の時から宇宙や天体に興味があり、宇宙に関わる研究で最前線に位置する国立天文台で研究の発展に貢献したいと考えたためです。

→学生時代に航空宇宙工学を専攻していて、もともと興味を持っていたことと工学部で学んだ知識を生かして研究者が必要とする設備を整えるような研究支援ができると思ったからです。

→すばる望遠鏡があるマウナケア山から見た星空に圧倒された経験から、宇宙に関して研究するという事に大きな意義や夢を感じ、そのような研究を後方から支えたいと考えたからです。

→宇宙を研究する機関が格好良いと思ったからです。最先端の天文研究に少しでも携わりたいと思い志望しました。

→アカデミックな環境で働くことに興味があったからです。車通勤ができることも大きな魅力でした。

→教育関連の仕事に携わりたかったことと、昔からプラネタリウムとか星座とかが好きだったからです。

→数ある職種の中で、星や宇宙に関わることができる仕事は珍しく、非常に興味を持ったためです。

・研究職ではなく事務職を希望した理由を教えてください。

→学生時代に先行していた学問が全く関係のない社会学だったため、研究職という選択肢はありませんでした。ただ、学生時代の経験などからも、自分が目立つというよりは陰から支える事務職という働き方が自分には向いていると考えていました。

→そもそも研究職に就こうという発想がなかったので適切な回答ではないかもしれませんが、研究で何か成果が生まれたときに、研究者でなくとも組織の一員として喜びを味わうことができるのが事務職だと思ったためです。

→文系なので国立天文台の研究職は元から視野にありませんでしたが、教育や研究を行う環境を整える、支える立場として社会に貢献したかったからです。

→私自身、大学院で生物分野の研究をしていましたが、仕事という側面で考えた時、自分は自ら研究を進める立場よりも、それらをサポートする仕事に魅力を感じ、事務職員を目指しました。



・採用された皆さんの語学力を教えてください。

→外国人研究者から問い合わせが来た際に、翻訳支援サイトの助けを借りながら、英文メールに対応できるくらいの語学力です。

→英検は3級で、TOEICスコアは500程度でしたが現在研鑽中です。

→TOEICなどは受けたことがないため明確にお答えできませんが、苦手な方です。英語でのやり取りには四苦八苦していますが、上達に向けて日々努力しています。

→私は英語が苦手で、英語でスムーズにコミュニケーションをとることができません。そのため、外国人の研究者の方とお話しするときは毎回緊張しますが、皆さん優しい方ばかりなのでいつも私の伝えたいことを汲み取ろうとしてくださいます。

→TOEICは650で苦手です。翻訳ソフトを使えば外国人の方と英語でメールのやり取りをすることができますが口頭でやり取りをすることはかなり難しいです。(が、みなさん優しいので単語で意図を汲み取ってくれたり、スマホで日本語に翻訳して見せてくれたりします。)



・普段どのような業務をされているのでしょうか。

→外部から給付される研究助成金に係る業務で、各種申請書・報告書の内容の確認、研究者との連絡・調整などを主にしています。

→国立天文台で働く方々の給与を正しく支給するための業務を行っています。その中でも私は主に、諸手当の認定などを担当しています。

→私は年俸制職員の採用や退職に関する手続きなどの業務を主にしています。

→各種会議の事務、台内規則関連の事務、お客様対応（事前準備や当日のカメラマン等）等の業務を担当しております。

→国立天文台が有する資産の管理を行っています。また、職員の方向けの宿舍の事務手続きをしています。

・仕事を行ううえで役に立つことは何ですか。

→業務の内容で少し考えてもわからないことがあれば、上司・先輩に質問・相談する積極性が特に大切だと思います。

→一人で抱え込まずに同僚や上司に適切に頼ることやコミュニケーション力だと思います。

→PCスキル（Excel等）があると役立つと思います。私はそのようなスキルがないので、いつも先輩に教わっています。

→素直さ。わからないことがあれば自分でも考えたうえで上司や同僚に相談すること。あとは日々のコミュニケーションを大切にすること。

・働いてみてギャップを感じたことがあったらお聞きしたいです。

→近寄りやすいイメージのあった研究者の方々が気さくで接しやすかったことです。

→想像以上に書類が多いということと敷地が広すぎるため屋外で作業するときはかなりたくさん歩くということです。

→私が感じたギャップは、同じ業務に関わる方が思った以上に少ないということです。同じ係内でも担当が分かれており、給与に関する業務は私を含め三名で行っています。そのため、自分が未熟なうちはほかの二名の方の負担が大きくなってしまうため、早く一人前にならなければ…！と採用前よりもより強く感じています。

→お昼休憩の時に運動している職員がたくさんいらっしゃるということです。（テニス、卓球、キャッチボール等）

→事務職員の人数が少ないことに驚きました。

・働いていて楽しいことはありますか。

→国立天文台にはいろいろな職種・年代の方がいらっしゃいます。その方々と業務を通じて知り合えることが私にとっての日々の楽しみです。

→一般公開していない望遠鏡等に接することができることや自分の関わった研究室で新た

な学術的成果が出たことです。

→英会話研修が楽しいです。毎週一回、希望者を対象に英会話の授業があるのですが、普段は関わりのない他の課の先輩方と一緒にコミュニケーションをとることができます。

→携わった仕事で、人に感謝されたり喜んでもらえたときです。

→職員間の繋がりが強く、休み時間や定時後に年に数回催し物があること。業務を通じてもそうですが、そういったことに参加して職員の方々と仲良くなれている気がします。

→人事係ですと、担当している公募案件で実際に人が決まり、その方が採用され一緒に働くことになった時、達成感があると思います。

・業務で大変だったことは何ですか。

→国立天文台に就職して、初めて財務会計ソフトに触れましたので操作や用語になかなか慣れず、マニュアルを読み込んだり先輩に何度も質問したりと苦労しました（現在も苦労しています）。

→先生方はとても忙しく、メールでのやり取りが円滑に進まなかったり、必要書類をなかなかご提出いただけなかったりすることがあります。ただ業務を進めるために必要であるため、相手の状況に配慮しつつお声がけをすることを常に意識しています。

→急ぎの案件を複数抱えている時に、トラブルが重なったことでしょうか。

→新卒の1年間でなんとか人事労務系の知識や業務を覚えて慣れてきたと思ったら次の年に財務課に異動になり、慌てて簿記を勉強したこと。自身の知識不足を痛感しておりますが、様々な業務を経験させていただけることに感謝しています。

・どのようにモチベーションを保って仕事をしていますか。

→なるべく規則正しい生活を心がけて体調管理に気を配って、日々の業務に集中できるようにしています。

→研究者から頼られることも多いので、研究を支えていると感じられることがモチベーションにつながります。

→週末に楽しみなことを予定していると、今週も頑張ろうという気持ちになります。私の場合は食べるのが好きなのでおいしいものを食べに行く予定を立てます。

・やりがいを感じた出来事を教えていただけないでしょうか。

→無事に申請手続きが完了し、研究者からのお礼の言葉をいただいたときにやりがいを感じました。

→まだ大きなことは成し遂げられていないのですが、できることが日々増えていき、いただいた質問に自分の力できちんと対応できた時にはやりがいを感じます。

→大きな問題等がなく無事に仕事をやり遂げられたときにやりがいを感じます。

→国立天文台の研究成果等の新聞記事が出たり、テレビ番組が放送されたりするとやりが

いを感じます。

→自分が採用手続きを行った人が無事に国立天文台で業務や研究を行っているところを見たとき。人の役に立てたのかなと思い嬉しくなりました。

・今までで一番印象に残ったことはありますか。

→国立天文台に採用されたことです。(本当にびっくりしました。)

→国立天文台内にある立派な桜をみたときです。三鷹キャンパス内の普段は一般開放していない場所にとっても立派な桜の木があるのですが、それをみたとき「豊かな自然がたくさんあるこの場所で働けて良かったな」と思いました。

・ワークライフバランスについてお聞きしたいです。

→繁忙期を除けば、残業もあまりありませんので、比較的自分の時間を持ちやすいと思います。

→とても整っていると私は感じます。忙しい日ももちろんありますが、定時で帰宅することが多く、次の日に向けてしっかりと休めます。

→私は仕事を終えた後、家に帰って録画しておいたドラマを観ます。他にも、終業後にバドミントン等のサークル活動に参加している職員の方もいらっしゃいます。

→残業の量は部署によると思います。自分は毎月必ず1日は年次休暇を取得して、ドライブやサイクリングをしています。

→繁忙期は残業が多くなりますがそれ以外は定時等で帰れる日も多いです。休暇が取りにくいという雰囲気も特になく、休みたいときに休めます。

→繁忙期には残業は発生しますが、休日出勤は行事等を除き基本的にありません。自身のライフステージに合わせて、産休育休や、結婚休暇を取ることができます。(私は先日結婚休暇を取らせていただきました)

・休日の過ごし方は？

→ゲームをしたり、料理をしたりとのんびり過ごしています。

→スポーツ観戦や読書、自己研鑽や資格試験の勉強等をしています。

→趣味のバドミントンをしたり、友人と出かけたりしてリフレッシュをしています。

→友人とご飯を食べに行くことが多いです。おいしいご飯を食べるとこれらも頑張ろうというエネルギーがわいてきます。

・国立天文台で働いてみてよかったことは何ですか。

→歴史的建造物の維持管理や望遠鏡ドームのような特殊なものに多くかかわることができることです。

→車で通勤することができるということです。私は車を運転することが好きなので、毎日楽

しく通勤しています。

→天文研究に関する施設や装置が身近にあり面白い。

→優しくて面白くて頼りになる先輩方に出会えたこと！

→天文に関する話題には、必ずと言っていいほど、国立天文台の名前が挙がります。日常でニュースを見ているときに、天文台がかかわるニュースが流れると、うれしくなります。(さらに、家族や知人にその解説ができると、少しカッコいいです。)

・国立天文台ならではの魅力を教えてください。

→研究者の方々と距離が近く、タイミングが合えばお話しすることもできるので、天文分野に興味があるのであれば魅力的な環境だと思います。

→自然が豊かなことと天文学関連の研究者と多く話す機会があるため、学びが多いことです。

→職員として宇宙研究に携わることができるということだと思います。いつもそのような感覚を持っているわけではありませんが、ニュースなどで国立天文台の名前があがるたびにうれしい気持ちになります。

→事務部の規模が小さいため、わからないことがあればすぐに相談しに行くことができる。車通勤ができる。

→イベントのお手伝いに手を挙げれば石垣島や小笠原、水沢など国内の様々な場所に行く機会があること。

→国立天文台三鷹は、非常に自然豊かな場所で、お昼休憩に気持ちよく散歩ができます。職場内にグラウンドやテニスコートがあり、職場内レクリエーション活動としてのスポーツも盛んです。また、天文台は国内（岩手県、長野県、沖縄県等）や海外（ハワイ、チリ）に分室があり、出張等の機会があります。

・職場の雰囲気を教えてください。

→上司・先輩方が優しく、働きやすい雰囲気だと思います。また、クラブ活動もあり、課を越えての交流が盛んですので、仕事の合間にリフレッシュすることもできます。

→程よい距離感だと感じます。新任職員であっても自分の意見を主張することができます。

→質問や相談をしやすい雰囲気でもとても助かっています。

→皆さん明るく気さくに話しかけてくださいます。

→人も環境も、非常に朗らかで明るい職場で、日々穏やかに楽しく過ごしています。

・どのような人が向いていると思いますか。

→研究活動および機関運用を支えるさまざまな業務にあたるので、宇宙のこと・天文台での仕事に強い興味・関心がある方だと思います。

→時代やトレンドの変化に対応できる人やコミュニケーション能力が高い人が向い

ていると思います。

→コミュニケーションをとることが好きな人が向いていると思います。どの職場でも同じことかもしれませんが、様々な人に協力していただきながら仕事を進めていくので、積極的にコミュニケーションをとれる人が向いていると思います。

→人とコミュニケーションを取りながら仕事を進められる人。抱え込まない人。

→チームでの仕事に慣れており、色々な立場の方の意見を聞きながら物事を進められる方が向いていると思います。

・国内の観測施設のお話などがあればお聞きしたいです。

→国立天文台内の観測施設にはまだ行ったことがありませんが、今年度の自然科学研究機構初任者研修は愛知県岡崎市で行われ、他機関の初任職員の方々と交流するとともに、分子科学研究所や生理学研究所を見学しました。

→観測施設はどこも三鷹から遠いので移動が大変ですが、山頂近くにある観測所だと眼下に雲があり、ひとつひとつの観測装置のサイズの大きさに圧倒されます。

→私は三鷹キャンパスでしか勤務したことがありませんが、真っ白な電波望遠鏡を目にしたときは圧倒されました。

以上で、質問と回答は終了です。

最後までご覧いただきありがとうございました。

